

参加型 ECN

「SWFX (スイス・マーケットプレイス)」



1.参加型 ECN「SWFX（スイス・マーケットプレイス）」

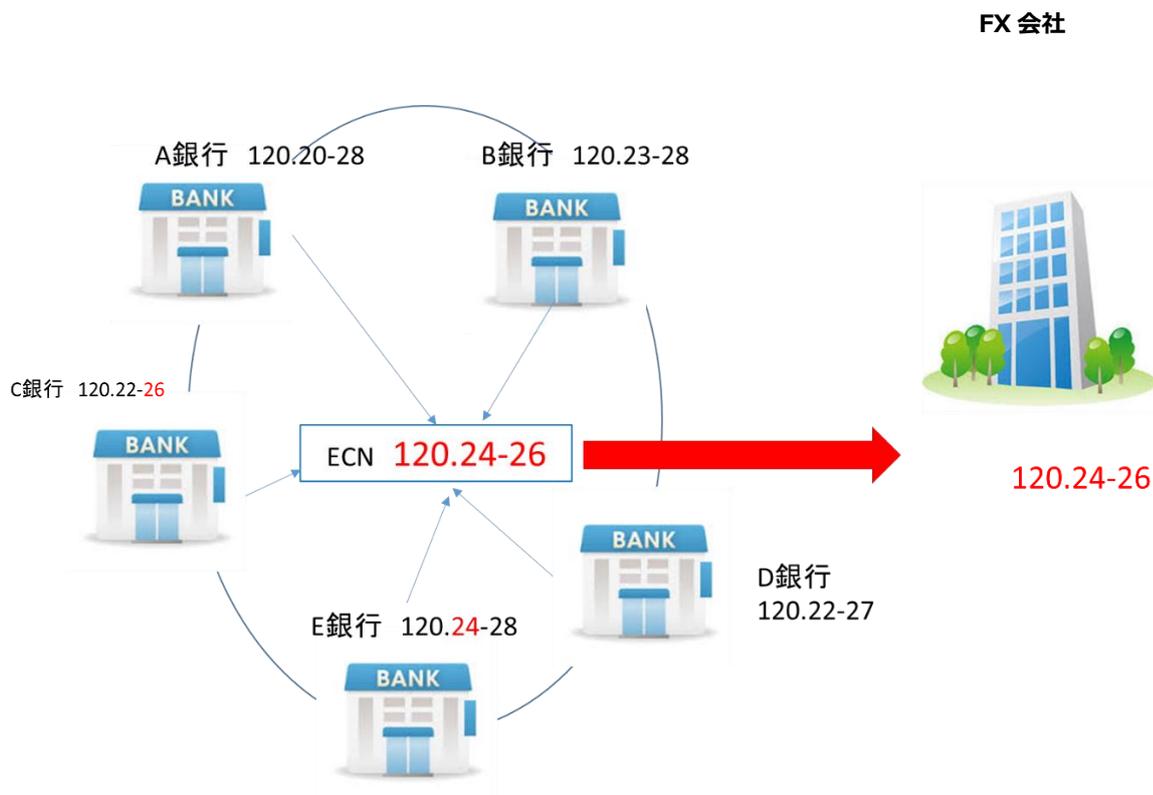
デューカスコピー・ジャパン（以下弊社）のお取引は透明性の高い、ECN（電子取引ネットワーク）を通じて自動的に行われます。

すべてのお客様との取引は、自動的に親会社であり、カバー先であるデューカスコピー・バンクに流れます。そしてデューカスコピー・バンクの先には更にカバー先*1として、更に 25 行以上の銀行や他の ECN が繋がっており、すべて自動化されています。

お客様に提示している取引レートは、各カバー先が配信しているプライスの中から一番良いレートを自動的に表示しています。

1.1 ECN のイメージ

ECN のイメージ



その時点で配信レートのうち、上位については、JForex の左画面にある板情報「マーケットデプス」にて数量と共にご覧になれます。

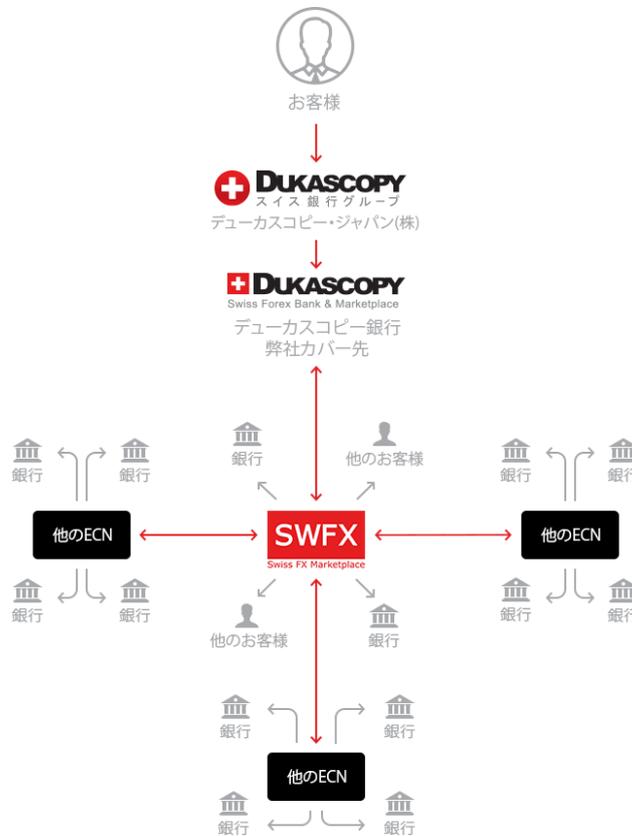
そのプライスの現在の注文数量

数量	ビッド	アスク	数量
1,000,000	1.3769 ₆	1.3773 ₂	1,750,000
1,500,000	1.3769 ₂	1.3773 ₃	1,200,000
1,500,000	1.3768 ₉	1.3773 ₄	1,050,000
9,370,000	1.3768 ₇	1.3773 ₅	3,920,000
2,620,000	1.3768 ₅	1.3773 ₆	4,500,000
89.7M/1.37669		1.37754/96.9M	

その時点でのビッドおよびアスクの合計数量

SWFX が他の ECN と大きく異なるのは、お客様が JForex の BID/OFFER 注文を使って 10 万通貨単位以上のオーダーを出した場合、この「マーケットデプス」の数量の中に含まれる点です。

つまりお客様ご自身が SWFX の構成メンバーとなって他の参加者にプライスを出すことが可能となり、ご自身のオーダー状況を確認しながら、他の ECN とは際立った大きな流動性を確保できるのが、SWFX の大きな特徴です。(デモ取引の場合は BID/OFFER 注文を出しても実際の SWFX には影響を与えません。)



もちろん SWFX はスイスの銀行の特色である守秘義務と高いセキュリティ機能によって、相手方の名前はすべてデューカスコピー・バンクの名前が使用されますので、どこの誰がどのような取引をしているのかは一切明らかにされません。

また**スプレッド**はカバー先銀行が出すレートによってベストプライスは刻々と変わっていきます。マーケットの状況によっては意図したプライスと異なるスリッページで約定する可能性もありますが、許容スリッページの幅は事前に設定することができます。

弊社ではカバー先から来たままのプライスをマークアップ（手数料分スプレッドを広げる）せず、お客様に配信しているので、**手数料**はお客様の取引コストがはっきり見える外付けとなっています。

また外付けの手数料は確定申告の際に経費として認められる場合もあります。*2

*1 デューカスコピー・バンクのカバー先（2016年6月現在）

バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ、コメルツ銀行、野村証券、パークレイズ銀行、カレネックス社、スカンディナビスカ・エンスキルダ・バンケン（SEB）、ドイツ銀行、JP モルガン・チェース銀行、ソシエテ・ジェネラル銀行、UBS 銀行、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク、シティ・バンク エヌ・エイ、ビー・エヌ・ピー・パリバ銀行、香港上海銀行、BATS Global Markets, Inc (HotspotFX)、Lava - FX、モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・リミティッド・ライアビリティ・カンパニー等

*2 経費として認められるかどうかについては、必ずお客様御自身で所轄税務署にてご確認ください。